

全国の現場の声（大衆討議）

-魅力ある職場・労働条件に向けて-

令和4年度労働協約改定要求は、外航、大型カーフェリー・旅客船、内航二団体、全内航、港湾部門の「船員しんぶん」号外を発行、水産部門などは各支部で要求案の組合ニュースを発行し、1月5日から2月17日までの大衆討議期間に付し、現場組合員の意見集約を行った。全国の現場の声をダイジェストした

-北海道地方支部管内-

【水産部門】

地区漁船は総じてコロナ禍による魚価の下落、資源量減少による水揚げ高の低迷、燃料油価格の高騰など厳しい状況に置かれている中、後継者の確保にも苦慮しており、雇用の確保を第一義に月額固定額の改善を含め、魅力ある賃金体系の構築に向けた要望が挙げられた

【国内部門】

内航部門では、ベースアップと年間臨時手当への期待が最も多い中、若年船員の定着率の改善を含め、後継者の確保・育成は、労使の共通の問題としてさらに取り組んでほしいなどの意見が寄せられている。陸上部門は若者に魅力ある労働条件の改善に向け、ベースアップを含め、月例賃金の改善を要望

-東北地方支部管内-

【水産部門】

若年層の確保・育成のためには、魅力ある労働環境が必要不可欠である。若年船員がしっかりと定着できる労働条件を目指し頑張ってもらいたい

【内航部門】

若年者に船員という職業に関心を持ってもらえるよう、労働諸条件の改善は必要。頑張ってもらいたい

【旅客部門】

若年船員が当社で長く働けるような職場作りのためにも、賃金を少しでも上げてもらいたい。休日については1日でも増えるよう改善に期待している

【港湾部門】

ベースアップについては、厳しいと思うが組合には頑張ってもらいたい